

消費者情報



村田 博典氏

スポーツチャンバラ普及に情熱燃やす兵庫県協会会長

【むらた・ひろのり】1950年兵庫県姫路市生まれ。父親や叔父の影響を受け小学生の時から柔・剣道を始め。大学時代は柔道部の副主将。88年、姫路市に武道専門塾「誠真館村田道場」を開き、館長に。柔道、空手、合気道、厨合道、剣道など15種類、合わせて5段の武道をこなす。兵庫県スポーツチャンバラ協会会長。

「メイン」に「コテッシー」。元気が掛け声が道場にこだまする。生徒は幼い子供から高齢者まで、老若男女を問わない。最近、街角でお目にかかれなくなったちびっ子たちのチャンバラ遊びが「スポーツチャンバラ」という名で近代版スポーツとしてよみがえり始めている。

プラスチック製の芯(しん)にスポンジを巻いたソフト小太刀や、防具は合成樹脂でできたヘッドギアのようなお面をかぶるだけ。剣道やほかの武道と違って、やわごしいルールは「切ない。相手の足や腕など体のどこでも

でも気分がスカッとしてストレス解消になる」といってはそばで見ているわかる。「ころあるきたとか、これが正しいという制約ばかり並べたらスポーツ本来の楽しみがなくなってしまうし、型にはめれば長続きしない。ただで

人になる。国際スポーツチャンバラ協会も設立されており、アメリカにも二万人以上の愛好者がいるそうだ。ストレスや運動不足解消、美容、健康な習い始める人の動機は様々だが、スポーツチャンバラを始めると「それまで暗かった性格の人でも一転して明る

型はなく自由にスカッと楽しむ

「剣道の有段者がスポーツチャンバラでは小学生に負けることもある。私も最初はダメでかかって、コテンパンにやられて」。小学生のころからあらゆる武術を手掛けてきた村田も「教える側からすると面白く、ケガがないのが一番と、最後にはこれにたどりついた。スポーツチャンバラは強化フ

パシッと決めればよく、三分間です。先に二本を取った方が勝ちだ。武器には長さ六十センチの小太刀から一握の棒まで五種類あり、そのどれを使ってもよい。「破しょう性が奪えるし、何と

え制約の多い社会で、それがストレスの原因になっているのだから」。自分だけの無手勝負が一番というわけだ。時にはスリッパや丸めた週刊誌を武器に試合をすることがある。「防具も武器も出来るだけ身近なものほど実戦に近いから」といふ。

もこの正式名称は「小太刀護身道」。数年前に「スポーツチャンバラ」と呼び方を変えてから人気が出始めた。東京では正規の授業やクラブ活動に取り入れられる中学校もあるという。現在、すでに全国に三百以上の道場があり、競技人口は約五万

流行人 しかけにん

「スポーツチャンバラ」。その呼称は難いが、村田は「柔道」を感心させるの古くて新しいスポーツの普及に情熱を傾けている。 (竹)